見通し・振り返りシート	２部３章１節 武家政権の発展と安定	年　組　番 / 名前
節の問い	本格的な武家政権が鎌倉に出現したことで、社会や文化はどのように変化したのだろうか。	

１項　鎌倉幕府の成立 p.90-94	２項　北条氏による政治 p.95-99	３項　鎌倉文化と鎌倉新仏教 p.100-105
【項の課題】源頼朝は、どのようにして東国の武士たちを中心とした新しい武家政権を形成していったのだろうか。	【項の課題】北条氏が幕府の実権を握ったことで、幕府政治の体制はどの程度変化したのだろうか。	【項の課題】なぜこの時期に仏教や建築などの分野で新しい文化が花開いたのだろうか。
【１項の振り返り】項の課題に答えよう。	【２項の振り返り】項の課題に答えよう。	【３項の振り返り】項の課題に答えよう。

【１節の振り返り】本格的な武家政権が鎌倉に出現したことで、社会や文化はどのように変化したのだろうか、あなたの考えを説明しよう。	（知・技） 評価：	（思・判・表） 評価：	（主） 評価：
【仮説の再確認】あなたが２章で表現した「中世の特色の仮説」を再確認しよう。１節での学習内容を振り返り、何か考えたことがあれば、自由に書き出そう。	指導者コメント欄		

※評価は２ページ目のルーブリックを活用しよう。

見通し・振り返りシート　２部３章１節 武家政権の発展と安定　ルーブリック評価表

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点について、次の基準を参考に自己評価してみよう。

	「知識・技能」の観点	「思考・判断・表現」の観点	「主体的に学習に取り組む態度」の観点
十分に到達できている（A）	武家政権の発展と安定について、資料や本文から読み取り、十分に理解できた。	本格的な武家政権が鎌倉に出現したことで、社会や文化がどのように変化したのかについて考察し、根拠に基づいてみずからの言葉で見解を表現できた。	自身の「探究する問い」と「中世の特色の仮説」について、主体的に追究・検証しようとした。
一部は到達できている（B）	武家政権の発展と安定について、資料や本文から読み取り、おおむね理解できた。	本格的な武家政権が鎌倉に出現したことで、社会や文化がどのように変化したのかについて、一部については考察し、みずからの言葉で見解を表現できた。	自身の「探究する問い」と「中世の特色の仮説」について、主体的ではないが、追究・検証する気持ちをもつことができた。
到達に努力を要する（C）	武家政権の発展と安定について、資料や本文から読み取れず、理解できなかった。	本格的な武家政権が鎌倉に出現したことで、社会や文化がどのように変化したのかについて考察できず、見解を表現できなかった。	自身の「探究する問い」と「中世の特色の仮説」について、追究・検証しようとしなかった。